

和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



令和7年・5月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

もっと豊かな遊びを

校長 福江 大幸

新緑に心が弾む5月を迎えました。

5月には、運動会があります。この行事は古くからあり、今でも残っている学校行事の一つです。運動会本番の時間や結果だけでなく、それまでの練習・打ち合わせ等のプロセスも、子どもたちにとって意義ある活動で、「全力・協力」で取り組める素晴らしい行事です。おそらく、6年間の思い出ベストテンに入ってくるでしょう。しかし、10年後、20年後、このような特別な体験と同じく、もしかしたらそれ以上に、友達と外で遊んだことが大きな思い出になっていくのではないかと思います。

私自身、小学生の頃の思い出は、カブトムシやクワガタ採集の競争をしたこと、川で魚を捕まえようとしたこと、秘密基地をつくったことなど、山や川などいろいろな所で、いろいろな年齢の友達と、いろいろな遊びをしたことがほとんどです。

遊んだことが思い出になっているのは、楽しかったからだけでなく、生きていく上で大切なことを学んだからではないかと思います。遊びの中で、失敗や成功、感動や悲しみなど様々な体験をしたことが、その後、生きていくための知恵や技、意欲、考え方の基礎になっています。

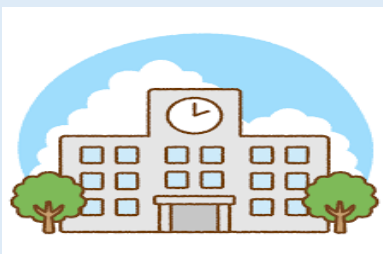
学校では、休み時間、子どもたちが元気よく外で遊んでいます。また、放課後や休日に外で遊んでいる姿を見かけることもあります。しかし、自分らが子どもの頃より、外で遊ぶ時間や空間、仲間はかなり少なくなっています。少子化やスマホの流行、安全対策のためなど、時代の変化とは思いますが、とても大切な「学び」の機会を失っている気がします。

本校の今年度の教育目標は、「自分を愛し、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる和木っ子の育成」です。豊かな遊びを通して、将来、たくましく生き抜く基盤を学ぶ機会を子どもたちにつくってやれないでしょうか。

すべての子どもに体験を提供できるのは、私たち大人です。私たち学校職員、行政職員、施設職員、社会教育団体の方、企業、そして保護者・地域の皆さんが未来を担うすべての子どもたちのためにつながり、実践意欲をもって体験を提供していかなければ子どもたちに申し訳なく思います。そのためには、使命感と覚悟をもって我々が効果的につながり、一緒に知恵を絞っていくことが大切だと思っています。



和木小コムスクひろば



4月30日(水)第1回学校運営協議会において、令和7年度和木小学校の学校経営方針について、委員の皆様から承認をいただきました。

今年度は、「和木 PRIDE」を醸成していくために、さらなる連携協働をし、子どもたちの新たな学びを実現していきます。

